

副市長説明 要旨

1 日時

平成 24 年 3 月 30 日 16 時から 17 時

2 場所

副市長執務室

3 出席者

理事、企画室長、企画課長、企画課長代理

4 議題

府市統合にかかる府市カウンターパート間の協議状況の報告
(幹線道路照明灯のLED化)

5 概要

- ・道路照明灯のLED化方針について説明。
- ・今後の取組みについて、府市協調の取組み、全体整備計画の考え方、LED化のスケジュール等について説明。
- ・議題について、了承が得られた。

幹線道路照明灯のLED化について（今後の進め方）（案）

➤ 道路照明灯のLED化方針

大阪府・・H23～25年度の3年間で府道路照明灯約23,000灯をすべてLED道路照明へ更新
 大阪市・・生活道路（8m未満）のうち、水銀灯はH24年度、ナトリウム灯はH32年度までにLED化を実施予定、幹線道路はI、IIグループに分類しH24年度からLED化の予定

➤ H24の取り組み

- 大阪府認定製品を採用できる条件の幹線道路を判断して、府市連統一体路線として整備するため、大阪府域と大阪市内をネットワークする路線で高架橋などの外部条件B*と考えられる路線を選定しLED化を実施する。
- 本格予算において調査費を計上し、性能・仕様別の灯数、場所等を整理し、節電量などから実現性を判断する。また、幹線道路をI、IIグループに分類し、大阪府仕様・それ以外、リース・買取り、整備期間などの「幹線道路LED化整備計画」を策定する。

➤ H25の取り組み

- 府市連統一体路線（外部条件B）のLED化を完了する。
- H24年度の検討結果から大阪府認定製品と異なる仕様の製品が必要と判断した場合には、認定製品の技術公募を実施する。

※外部条件 A：1.0cd/m² 道路交通に影響を及ぼす光が連続的にある道路沿道の状態
 B：0.7cd/m² 道路交通に影響を及ぼす光が断続的にある道路沿道の状態

➤ 幹線道路のLED化スケジュール

	H24	H25	H26	H27
府市連統一体路線 (IIグループの一部を対象)	大阪府認定製品によるLED化			
その他の幹線道路 (I,IIグループを対象)	調査・整備計画	技術公募	大阪市認定製品によるLED化	

➤ 幹線道路の分類とLED化方針

		I 大阪市認定製品の検討（技術公募の実施）	II 大阪府認定製品が採用できるかを検討・実施	生活道路のLED化とあわせて実施	
		対面3車線 (6車線)以上	対面2車線 (4車線)以上	対面1車線 (2車線)以上	単断面
	車道幅員(m)	~19.5以上	19.5~13	13~5.5	5.5~0
	道路照明灯 (高さ、容量)	12~10m NH 360~220w	10~8m NH 220~110w	10~5m NH180~70w LED40w	5m NH70~40w LED40~20w
幹線道路の 道路種別と 延長(m)	国道(指定区間外)	20,272	31,680	10,320	296
	府道(主要地方道)	22,314	51,283	32,899	5,957
	府道(一般)	10,501	15,139	23,593	5,198
	市道(主要地方道)	25,120	53,807	13,336	1,917

IIグループのうち、大阪府認定製品が採用できないものはIグループまたは生活道路系に振り分ける